

法人（事業所）理念		子どもさんの行動には必ず理由があることを第一に考えます 子どもさんの良いところを見つけます 一人一人を尊重し、出来ている事、出来そうなことをのばしていきます 子どもさんの「できた！」「がんばった！」と言う達成感を大切にします		
支援方針		1, 利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努めるものとする。 2, 地域との結び付きを重視し、市町村、他の指定障害福祉サービス事業者その他福祉サービス又は保健医療サービスを提供する者との密接な連携に努めるものとする。 3, 利用者の人権の擁護及び虐待の防止等のため、責任者を設置する等必要な体制の整備を行うとともに、その従業者に対し、研修を実施する		
営業時間		9 時 0 分から 18 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり <input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/>
支援内容				
本人支援	健康・生活	*来所時にやること⇒健康状態の確認：検温・うがい・手の消毒・靴を入れる・カバンを置く・出席スタンプ・連絡ノート提出など 毎回、来所したら「8項目」が一人で出来るように絵カードなどで支援し、定着を目指す		
	運動・感覚	*屋内遊び（ミニスポーツ）・公園遊び・スポーツセンターの利用⇒粗大運動、遊具での多様な動き、気分転換、筋力の維持を目的とするプログラム *創作活動⇒微細運動として、つまむ・引っ張る・ひねる・はる・塗るなどの動きで指先の巧緻性を高めるプログラム *音あそび⇒リズムや歌を通して、持っている感覚を活用しながら遊ぶ		
	認知・行動	*認知の偏り・コミュニケーションの困難性から生じる行動障害への予防と対応⇒「始まりの会・終わりの会」など一日の活動のながれをあらかじめ説明し、理解を促すために絵や写真などを用いる *スタッフと1対1の「自立課題」⇒数や色・形の概念を知るプログラム（プットイン・分類作業・大きさの違いなど）		
	言語コミュニケーション	*調理や工作の手順書⇒理解できる形態の情報で伝える（見本・写真・具体物・表など） *見通しを伝えるスケジュール（視覚的な情報が優位なとき） *カレンダーづくり⇒数字・日付・文字をなぞる・数字のシールはり		
	人間関係社会性	*ごっこ遊び・見立てあそび⇒遊びの中に小さな社会性を生み出しその発達を支援するプログラム *一人遊びから協同あそび（小集団）への移行⇒人と関わることの困難性があることを理解し、遊びを通して身近な人から周囲のお友達への関係の広がりを支援する *外出行事⇒集団に参加し、公共の場での振る舞いのルールやマナーを体験し学習する		
家族支援	発達状況や特性の理解に向けた相談援助、ペアレントトレーニンなどの研修の案内 子育てに関する困りごと相談援助 きょうだい児の相談援助の支援 保護者とデイの交流会など	移行支援	本人への発達支援や進路・移行先の選択などの相談援助 他の事業所や学校との情報共有・連携・支援	
地域支援・地域連携	保険・医療・福祉・教育などの関係機関やサービス事業所同氏の情報交換などで、本人支援に必要な現状の理解とサービス内容の見直しなどを検討しあう こどもとその家族が支援の対象である	職員の質の向上	*虐待防止・身体拘束・事故防止・感染症・防犯・災害⇒に関する研修を全社員向けに行う*自然災害時の避難訓練を年二回実施（利用者も対象） *関係機関（市町・県）の研修会に参加し、その報告をする。	
主な行事等	*季節⇒初もうで・節分・ *工作⇒リサイクル工作・紙漉き・アイロンビーズ・ハロウィン工作・作って遊ぶ・壁画カレンダー *生活⇒昼ごはんづくり・おやつ作り・お買い物・掃除・ペットボトル仕分け・洗濯物たたみ *自立⇒お金の学習・自立課題・マナークイズ・お出かけのマナー・お買い物など			